

< 参考資料 >

図表1 . スポーツ参加市場規模

	年間平均支出額	市場規模	参考：市場規模（2006年）
スタジアム観戦市場（n=608）	30,443 円（ 8.6%）	8,285 億円	7,235 億円
用品購入市場（n=901）	30,634 円（ 4.9%）	1兆2,655 億円	1兆 270 億円
施設利用・会費市場（n=771）	53,178 円（ 12.1%）	1兆7,832 億円	1兆5,130 億円
市場規模の合計	—	3兆8,773 億円	3兆2,635 億円

15歳～69歳を対象とした市場（2006年調査は18歳～64歳を対象とした市場）年齢階層別の平均支出額×年齢階層別人口×支出率を市場別に算出し合算。年齢階層別人口には、総務省「人口推計年報」を利用。

（注）（）内は昨年調査比

図表2 . スタジアム観戦にかかる出費（チケット代、交通費、飲食費、グッズ費、記念品費等 / n=608）

	一回あたりの金額	年間総額
チケット代	3,015 円（ 6.1%）	10,176 円（ 1.3%）
交通費	2,188 円（ 0.4%）	8,620 円（ 21.9%）
飲食費	1,891 円（ 1.8%）	7,130 円（ 9.0%）
グッズ費	602 円（ 1.2%）	2,403 円（ 12.2%）
記念品等費	585 円（ 2.8%）	2,115 円（ 5.2%）
合計	8,281 円（ 2.8%）	30,443 円（ 8.6%）

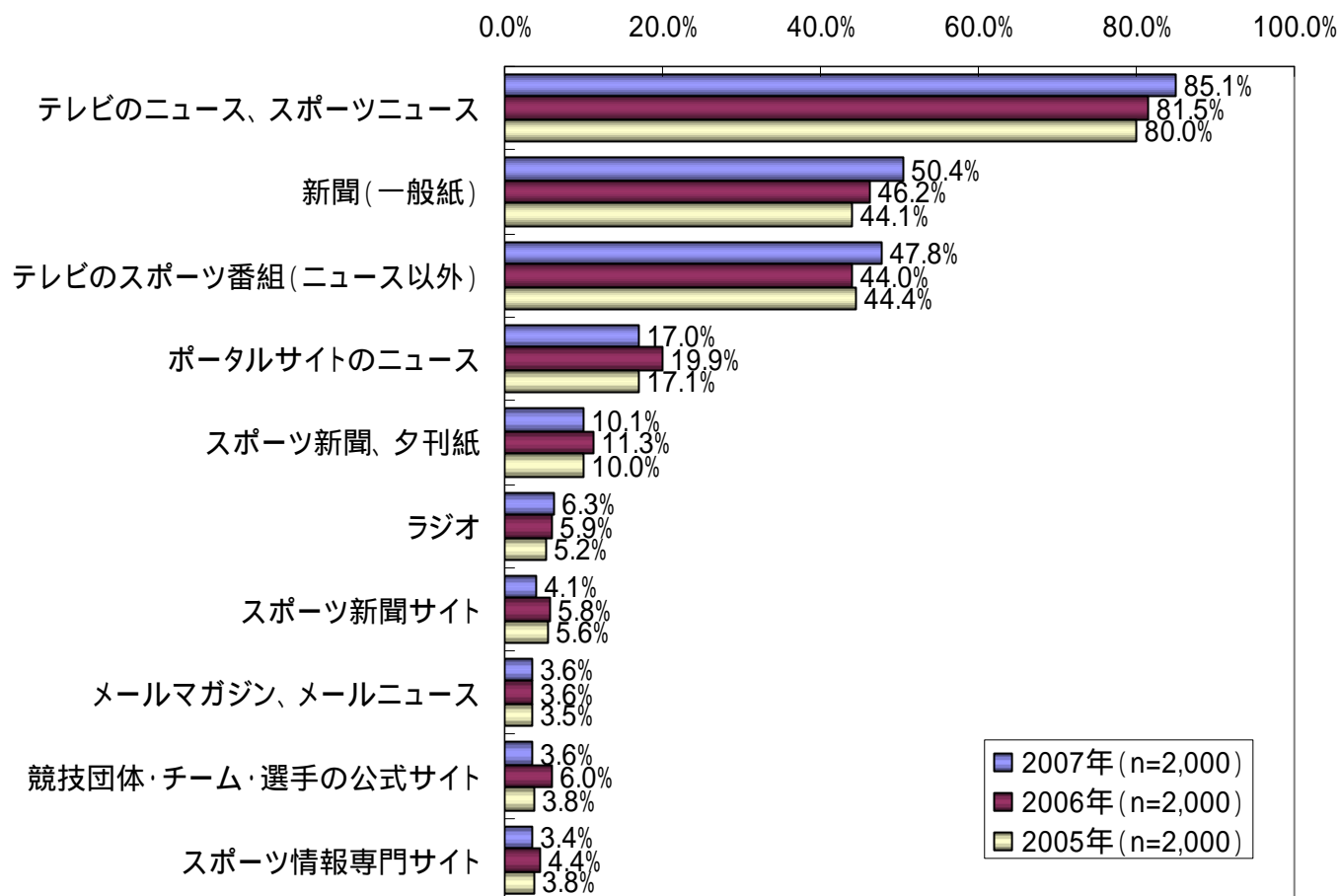
（注）（）内は昨年調査比

図表3 . 「好きなスポーツ」「よく観るスポーツ」「行っているスポーツ」（n=2000）

順位	好きなスポーツ （単数回答）	よく観るスポーツ （複数回答）	行っているスポーツ （複数回答）
1	野球 20.7% （ 1.0pt）	野球 53.0% （ 0.1pt）	体操・トレーニング 10.0% グ・エアロビクス（ 1.6pt）
2	サッカー 11.8% （ 0.4pt）	サッカー 40.1% （ 6.1pt）	水泳 8.9% （ 0.6pt）
3	F1・ラリー・バイク などのモータースポーツ 4.9% （ 0.6pt）	ジョギング・マラソン・ 駅伝 24.2% （ 5.4pt）	ジョギング・マラソン・ 駅伝 8.4% （ 1.2pt）
4	バレーボール 4.6% （ 1.7pt）	バレーボール 21.9% （ 6.6pt）	ゴルフ 8.0% （ 0.2pt）
5	水泳 4.5% （ 1.2pt）	水泳 18.1% （ 4.6pt）	ハイキング・登山 5.9% （ 1.1pt）

（注）（）内は昨年調査比

図表4 . スポーツに関する情報の入手メディア (n=2000、上位10項目) [MA]



図表5 . スポーツ選手の好感度[SA]

	2007年 (n=2000)		2006年 (n=1999)		2005年 (n=2000)	
1位	イチロー	58.2%	イチロー	52.8%	イチロー	55.1%
2位	松井秀喜	34.7%	松井秀喜	31.3%	松井秀喜	46.4%
3位	浅田真央	33.0%	荒川静香	30.3%	宮里 藍	31.8%
4位	中村俊輔	24.1%	浅田真央	27.7%	古田敦也	27.9%
5位	宮里 藍	23.3%	宮里 藍	25.1%	新庄剛志	27.2%

(注) %は、好きな選手として回答のあった割合

図表6 . 応援しているプロ野球チーム (n=2000) [SA]

パ・リーグ		セ・リーグ	
福岡ソフトバンクホークス	4.8%	阪神タイガース	11.7%
北海道日本ハムファイターズ	3.2%	読売ジャイアンツ	11.4%
東北楽天ゴールデンイーグルス	2.2%	中日ドラゴンズ	5.4%
西武ライオンズ	1.3%	広島東洋カープ	2.3%
その他のチーム			8.2%
応援しているチームはない			53.2%

各リーグで回答の多い上位4チームを抜粋。レポートでは全チームを掲載予定。

図表7 . 15～69歳のプロ野球ファン人口推計

プロ野球	ファン人口
阪神タイガース	1,057 万人
読売ジャイアンツ	1,007 万人
中日ドラゴンズ	488 万人
福岡ソフトバンクホークス	431 万人
北海道日本ハムファイターズ	271 万人
プロ野球ファン総数	4,183 万人

(注) 性別・年齢分布にもとづき算出。推計値は15～69歳のファン人口である。年齢階層別のファン率×年齢階層別人口を算出し合算。年齢階層別人口には、総務省「人口推計年報」を利用。

ファンの多い上位5チームを抜粋。レポートでは全チームを掲載予定。

図表8 . 応援しているJリーグチーム (n=2000) [SA]

Jリーグ	
浦和レッズ	3.7%
ガンバ大阪	2.8%
名古屋グランパスエイト	2.0%
横浜F・マリノス	2.0%
ジュビロ磐田	1.5%
その他のチーム	13.8%
応援しているチームはない	74.4%

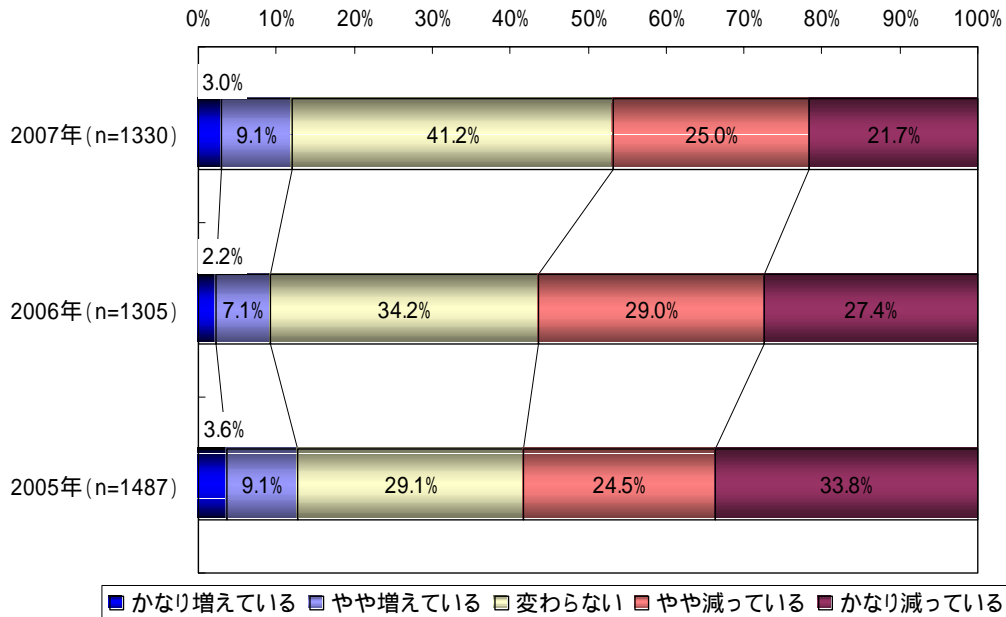
(注) 日本代表チームファンは除く
回答の多い上位5チームを抜粋。レポートでは全チームを掲載予定。

図表9 . 15～69歳のJリーグファン人口推計

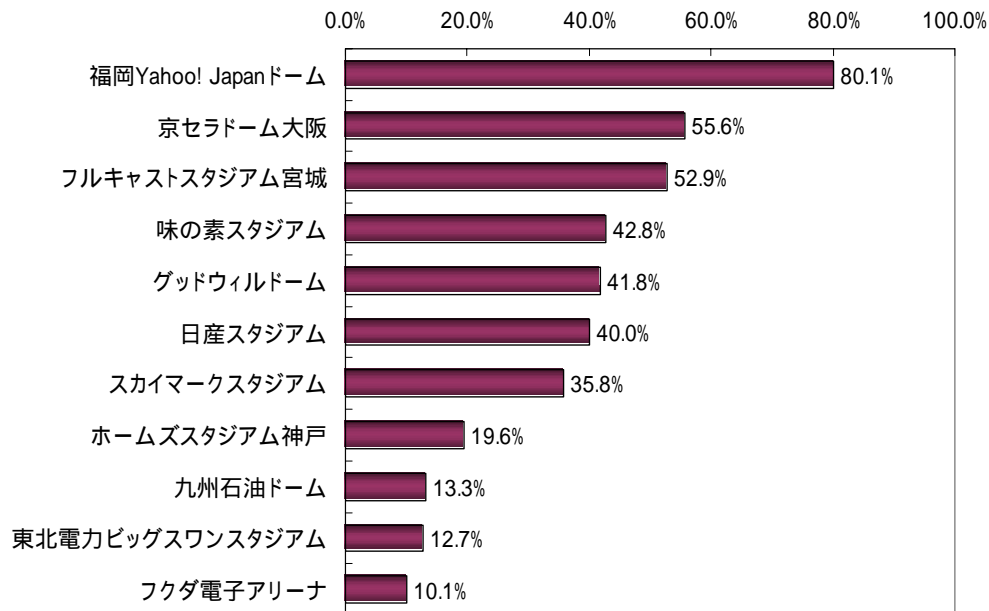
Jリーグ	ファン人口
浦和レッズ	341 万人
ガンバ大阪	229 万人
横浜F・マリノス	183 万人
Jリーグファン総数	2,315 万人

(注) 推計値は15～69歳のファン人口である(日本代表チームファンは除く)。推計方法はプロ野球ファン人口と同じ。
ファン数の多い上位3チームを抜粋。レポートでは全チームを掲載予定。

図表10. プロ野球のテレビ中継の視聴頻度(経年比較)[SA]



図表11. ネーミングライツを利用したスタジアムの認知度(n=2000)[MA]



競技場名を知っている人の割合

図表12. 過去一年間(2006年9月~2007年8月)で最も印象に残ったスポーツの出来事(回答の多い上位を抜粋)[SA]

